

現代日本学社会分析研究演習Ⅰ／現代日本学演習Ⅲ「現代日本における社会問題の分析」

# 論文について発表 (1)

田中重人 (東北大学文学部教授)

[テーマ] グループ内のほかの人の選択した論文について内容を説明し、討論。

## 1 授業内容

各グループで、それぞれの選んできた論文について、事前に打ち合わせておく。各自、自分の選択した論文について資料をつくり、授業開始時まで Google Classroom のストリームに投稿すること。

当日の発表手順は次の通り：

- 説明は、グループ内のほかの人がおこなう (2分)
- そのあと、論文を選択した本人が追加説明 (1分)
- 全体で討論 (10分程度)

報告すべき内容は次の通り：

- 論文の「問い」はなにか、それにどのような「答え」を出しているか、その根拠は何か
- 疑問点や批判など
- 内容を発展させる方向性

## 2 発表予定文献

### 2.1 グループ1

- 岡本健「コンテンツツーツーリズムとインバウンド：現実空間・情報空間・虚構空間の移動を考える」『IATSS Review』45(1) (2020), pp. 51–57. <[https://doi.org/10.24572/iatssreview.45.1\\_51](https://doi.org/10.24572/iatssreview.45.1_51)>
- 谷口秀子「少女漫画における男装：ジェンダーの視点から」『言語文化論究』15 (2002), pp. 105–114. <<https://doi.org/10.15017/5433>>
- 池上賢「『週刊少年ジャンプ』という時代経験：解釈枠組みとしてのマスター・ナラティブ」『マス・コミュニケーション研究』75 (2009) pp. 149–167. <[https://doi.org/10.24460/mscom.75.0\\_149](https://doi.org/10.24460/mscom.75.0_149)>

## 2.2 グループ2

- 久井英輔「戦後における読書行動と社会階層をめぐる試論的考察：格差の実態の変容／格差へのまなざしの変容」『生涯学習・社会教育学研究』29 (2004), pp.1-13. <<https://doi.org/10.15083/00025134>>
- 橋本祥夫「キャリア・パスポートを中核にした小学校・中学校・高等学校の連携によるキャリア教育の意義と課題」『こども教育学部研究紀要』2022年度臨時号 (2022), pp. 25-37. <<http://id.nii.ac.jp/1431/00003299/>>
- 木村涼子「教室におけるジェンダー形成」『教育社会学研究』61 (1997), pp. 39-54. <<https://doi.org/10.11151/eds1951.61.39>>

## 3 課題 (5/24まで)

下記のことを調べて、再来週水曜日 (5/24) 12:00 までに提出。

### 3.1 【課題1】臨時号

『こども教育学部研究紀要』2022年度臨時号は、どういう経緯で出版されたものか。なぜ「臨時」なのか。

### 3.2 【課題2】雑誌の「特集」について

今回報告された6本の論文のうち、「特集」にふくまれるものはどれか。

### 3.3 【課題3】各自の論文で参照されている文献の同定

自分の選んできた論文で参照されている文献を、すべて同定する。ここで「同定」というのは、その文献が入手できる状態になること (図書館の所蔵やオンライン文献のURLがわかる、など) を指す。実際に入手しなくてもよい。

簡単には同定できなかったものについて、つぎのことをまとめる：

- その文献の書誌情報
- 同定に苦労した (または同定できなかった) 原因